

# 著書紹介

著者自らが新刊を紹介します。



## イマジナリー・ネガティブ 認知科学で読み解く「こころ」の闇

心理学部・教授・久保 南海子

- ▶新書判 ▶224ページ ▶集英社
- ▶本体920円＋税 ▶2024年9月17日発行
- ▶「いま、そこがない」ことを想像して「いま、ここにある」現実へ投射できるがゆえに、私たちは知らないうちに他者から操られたり、自分を縛るさまざまな問題に悩まされている。靈感商法や陰謀論、ジェンダー規範など現代の社会問題について、認知科学の視点から考察する。



## ディスカバリー社会心理学

心理学部・教授・小川 一美(分担執筆)

- ▶A5判 ▶288ページ ▶北大路書房
- ▶本体2,600円＋税 ▶2024年10月20日発行
- ▶序章「社会心理学のトリセツ」と、「集団とまじわる」「人とかかわる」「内からとらえる」の3部から構成される社会心理学の新・定番テキスト。公認心理師試験対策としてのキーワードも取り入れつつ、「集団」「対人」「個人」にまつわる社会心理学の基礎知識とトピックを満載。5章およびコラム6を執筆。



## 写真植字の百年 図録

創造表現学部・准教授・阿部 卓也(共著)

- ▶B5判 ▶137ページ
- ▶TOPPANホールディングス(株)印刷博物館
- ▶本体3,500円＋税 ▶2024年9月21日発行
- ▶写真植字機の発明100周年を記念して、活版印刷からデジタルフォントへと文字印刷の橋渡しを担った写植の歴史、役割、仕組み、書体デザインなどを紹介した企画展の図録。「第1部：写真植字 はじまりとひろがり」に収録された論考「写植発明の歴史—メディア、言語、社会」を執筆。



## 批評の歩き方

創造表現学部・  
講師・松田 樹(共著および責任編集)

- ▶A5判 ▶276ページ ▶人文書院
- ▶本体2,500円＋税 ▶2024年11月30日発行
- ▶文芸批評の歴史を継承し、更新する——。人文書院noteでの人気連載「批評の座標」を書籍化。22人の批評家を取り上げたnoteでの連載記事を加筆修正し、クエストマップ、座談会、ブックリストを増補。さまざまな知の旅路を収録した「批評ガイド」の決定版。